



さあ、いよいよ希望に満ちた新年の始まりだ

新しい年を迎え、今みなさんも希望や期待に満ちていると思います。この節目節目を意識することはとても大切なことだと思います。気持ちを切り替えて、成長し、自分を大きく変えていくチャンスです。みなさんは、この新年を迎えるにあたって、何を思ったのでしょうか。

私は、この東中学校がさわやかで大きなあいさつのとびかう学校にしたいと願いました。そして、互いに思いやり、声を掛け合う生徒、みんなが友達に大切にされていると感じ、互いに励ましあい、楽しい笑顔があふれる学校にしたいと願いました。

大きな声であいさつされる、礼儀正しい姿を目の当たりにすると、受ける側はとてもさわやかな気持ちになります。大きな声であいさつすると、元気が出てきます。相手の笑顔を見ると気持ちがさわやかになります。礼儀正しく振る舞うと、背筋がピシッと伸びます。胸を張ることで、何やら自信めいたものがわいてきます。次に何か挑戦しようかという気持ちになります。

この東中学校を、元気良いさわやかなあいさつが飛び交い、一人ひとりが輝き、みんなが励まし合い高め合える学校にしていきたいと思います。

この一年 私はこうがんばる ～終業式、始業式で語った代表の決意～

終業式で二学期のふり返りと次への決意を、三学期始業式では、新年を迎えての決意を各学年の代表の生徒が発表しました。学年それぞれがもつ課題をふまえ、力強い思いを語りました。

合唱コンクールで学んだことを次に生かす 田中拓実(3-2)

「え、ホントに？」これが僕の最初の気持ちでした。2学期が始まった頃、学活で東中祭の合唱コンクールの指揮者を決めていました。1、2年生とクラスの合唱がうまくいかなかった僕は、指揮者をするに乗り気ではありませんでした。ふと、自分の名前が挙がったとき、思わず「え、ホントに?!」とってしまったのです。しかし、やると決まったときには、今年こそ完璧にやる！と決意をしました。

体育大会が終わり、僕たち2組ほどのクラスよりも早く練習を始めました。最初にみんなの歌を聴いたときの感想は「え、ホントに?!」でした。今年はイケると、思わずガッツポーズをしたのを今でもよく覚えています。

合唱コンクール実行委員や有志のメンバーで、家で練習するためのCDをつくり、個人用の歌詞カードも作りました。

しかし、順風満帆に見えた練習も、その頃からうまくいなくなり始めました。練習に参加しない人が出てきてしまったのです。これまでの2年間、合唱でつまづいてきた僕にはわかりました。この悪い雰囲気はどんどん広がる・・・と。予想通り、練習は行き詰っていきました。「今年こそ

は」と焦る気持ちがみんなへのアドバイスの言葉をきつくしていきました。追い込まれた僕は、みんなに対して「進歩がない」とまで言ってしまいました。そのときのみんなの暗い表情が今でも忘れられません。自分が必死に頑張ることを忘れ、歌う人が主役という指揮の基本さえも忘れてしまいました。それからの僕は、みんなを傷つけてしまったという申し訳ない気持ちを指揮に込め、家でも毎日何十回と指揮を練習しました。

そして、本番では、みんなが今までで一番良い表情で歌っていたことがとてもうれしかったです。結果発表のとき、「3年2組、金賞」と呼ばれましたが、もう「え、ホントに?!」とは思いませんでした。

この合唱コンクールを通して、全力で練習に取り組むことで、不安はなくなり、本番で実力を出し切ることができるのだと思いました。そして、そのときに結果がついてくるのだと実感しました。

これはどんなことにも言えると思います。僕たちには受験という勝負が待っています。しかし、合唱コンクールのように、本番前に一生懸命に頑張ることが自信となり、受験当日の僕たちを支えてくれると思っています。

次は「みんなで合格」を目標に頑張ります。

本校卒業生 頑張っています!! ~全国高校サッカー選手権大会より~

この冬に行われた全国高校サッカー選手権大会に石川県の星陵高校が準優勝しました。そのレギュラーとして本校卒業生の森山泰希君(高2)が活躍しました。国立競技場が会場となった準決勝、決勝でそれぞれゴールを決めました。特に、決勝では、勝利を決定づけるような2点目のゴールをヘディングで決めました。惜しくも後半終了間際に同点に追いつかれ逆転負けてしまいましたが、素晴らしい活躍だったと思います。

2年生ながらもスタートから出場し、フォワードとして得点するだけでなく、守りにも手を抜かずにグラウンド中を走り回る姿に感動しました。

森山君は、中3のとき「冬の全国大会に出たい。そして国立競技場でプレイしたい。そのために全国常連校である星陵に進む。」と夢を語っていました。3年生の2学期以後にも、夕方黙々と自主的にランニングしている姿を見かけました。また、この大会までには、2年生チームのレギュラーから外れるということもあったと聞いています。その時にも腐らず、自分を見つめ直し這い上がってきたそうです。

彼の活躍に、夢を夢として終わらせず、夢を叶えるために、自分に厳しく努力することの大切さを学んだ気がします。

学校評価でのご意見についてお答えします No2 ~回答及び取り組み~

- テスト週間中に、希望者を募って授業後等に学習できる時間や場所を作ってほしい。
⇒ 現在、各学年において、テスト週間中に始業前(7:30から)と授業後に学習会を行っています。自主参加ですので、子どもに参加するよう伝えてください。
- 部活動で練習試合があるときは見学に行ってもいいのですか？
⇒ 多くの保護者の方が応援にみえています。ぜひ応援に来てください。試合日程は、部の顧問から連絡するようにしています。公式戦については、東中だよりやホームページで情報を流すようにしています。
- 制服、体操服のリサイクル会をしてもらいたい。
⇒ 以前、行っていました。今後、開催方法など検討して実施の方向で考えていきたいと思っています。

<今後の主な予定>

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| ○2年職場体験学習
日時:1月21日(火)~24日(金) | ○新入生入学説明会 2月1日(土) |
| ○PTA選挙管理委員会 1月23日(木) | ○私立高校一般入試
日時:2月4日(火)~6日(木) |
| ○3年三者懇談会
日時:1月27日(月)~29日(水) | ○2年進路説明会 2月4日(火) |
| ○私立高校推薦入試 1月29日(水) | ○市内そくばい会 2月15日(土) |

校内で見つけた この一冊

多目的室の書棚にあります。
新着図書です。



「三匹のおっさん」

著者 有川 浩(ひろ)

還暦ぐらいでジジイの箱に蹴り込まれてたまるか、とかつての悪ガキ三人組が自警団を結成。剣道の達人・キヨ、柔道の達人・シゲ、機械いじりの達人・ノリ。ご近所に潜む悪を三匹が斬る!とても痛快な物語です。

有川浩さんは、これまでたびたび本屋大賞や直木賞にノミネートされる女性作家です。「阪急電車」「県庁おもてなし課」「図書館戦争」など多くの作品が映画化されています。